2026年11月5日

各 位

会　社　名　ローム株式会社
代 表 者 名　代表取締役社長 社長執行役員
東 克己
(コード:6963、東証プライム市場)
問合せ先責任者　広報IR部 統括課長 後藤 辰英
(TEL.075-311-2121)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2026年5月12日に公表した2027年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2027年3月期通期連結業績予想値の修正
（2026年4月1日～2027年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	510,000	30,000	36,000	29,000	75.12
今回修正予想（B）	550,000	50,000	53,000	45,000	116.56
増減額（B－A）	40,000	20,000	17,000	16,000	－
増減率（％）	7.8	66.7	47.2	55.2	－
（参考）前期実績（2026年3月期）	481,148	10,864	19,222	△ 158,424	△ 410.46

2. 修正の理由

エレクトロニクス業界においては、生成AIの急速な普及に伴いデータセンター関連投資が拡大しており、サーバー・ストレージ向けを中心に高水準の需要が継続しております。また、産業機器市場においてはFA向けを中心に需要の回復が見られ、自動車市場においてもxEV向けを中心に底堅い需要が続いております。収益面では、原材料価格やエネルギー・物流費などコストの上昇が続いているものの、売上高の増加に加え、価格適正化やコスト削減の取り組みが進展していることから、期初の想定を上回る収益性の改善を見込んでおります。以上の状況を踏まえ、2027年3月期の通期連結業績予想につきまして、上記のとおり修正いたします。なお、下期の為替レートは、1米ドル＝153円を前提としております。

当社グループは、引き続き構造改革を着実に実行するとともに、成長市場向け製品の拡販やSiC事業の収益化に取り組み、持続的な企業価値向上を目指してまいります。

＜業績等の予想に関する注意事項＞

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上